

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003198号99

成績書管理番号：04

令和3年1月

原子力規制委員会

使用前検査成績書

成績書管理番号：04

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 3 年 / 月 21 日  
至 令和 3 年 / 月 22 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第225号(令和2年 3月19日) 原発本第185号(令和2年10月 1日) 原発本第223号(令和2年10月28日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 / 月21、22日	良	吉村直樹  大江勇人	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 / 月 21, 22 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機 使用前検査記録  
(五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 1 月 21, 22 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会 記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(五号検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 1 月 21, 22 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器（別添1参照）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
負荷検査（その1） 1. 定格電気出力又は定格熱出力における原子炉関係検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号： ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
 (五号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：04

検査年月日：令和 3 年 / 月 21, 22日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添1参照	負荷検査 (その1)	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				



九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年1月21,22日

検査項目	検査用計器	管理番号 (製造番号)	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
負荷検査 (その1)	出力領域 N41	2NI-41A	0~120%		2020.9.15 ※1	
負荷検査 (その1)	出力領域 N42	2NI-42A	0~120%		2020.9.15 ※1	
負荷検査 (その1)	出力領域 N43	2NI-43A	0~120%		2020.9.15 ※1	
負荷検査 (その1)	出力領域 N44	2NI-44A	0~120%		2020.9.15 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ冷 却材高温側 温度(I)	2TI-410	0~400℃		2020.10.2 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ冷 却材高温側 温度(I)	2TI-420	0~400℃		2020.10.2 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ冷 却材高温側 温度(I)	2TI-430	0~400℃		2020.10.2 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ冷 却材低温側 温度(II)	2TI-415	0~400℃		2020.10.2 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ冷 却材低温側 温度(II)	2TI-425	0~400℃		2020.10.2 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ冷 却材低温側 温度(II)	2TI-435	0~400℃		2020.10.2 ※1	

※1：次回定期事業者検査まで

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年1月22日

検査項目	検査用計器	管理番号 (製造番号)	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
負荷検査 (その1)	Aループ TAVG	2TI-412D	280~330℃		2020.11.24 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ TAVG	2TI-422D	280~330℃		2020.11.24 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ TAVG	2TI-432D	280~330℃		2020.11.24 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ1 次冷却材流 量(I)	2FI-412	0~120%		2020.10.21 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ1 次冷却材流 量(II)	2FI-413	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ1 次冷却材流 量(III)	2FI-414	0~120%		2020.10.21 ※1	
負荷検査 (その1)	Aループ1 次冷却材流 量(IV)	2FI-415	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ1 次冷却材流 量(I)	2FI-422	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ1 次冷却材流 量(II)	2FI-423	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Bループ1 次冷却材流 量(III)	2FI-424	0~120%		2020.10.5 ※1	

※1：次回定期事業者検査まで

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年1月21日

検査項目	検査用計器	管理番号 (製造番号)	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
負荷検査 (その1)	Bループ1 次冷却材流 量 (IV)	2FI-425	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ1 次冷却材流 量 (I)	2FI-432	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ1 次冷却材流 量 (II)	2FI-433	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ1 次冷却材流 量 (III)	2FI-434	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	Cループ1 次冷却材流 量 (IV)	2FI-435	0~120%		2020.10.5 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器圧力 (I)	2PI-451	11~ 17.5MPa		2020.10.6 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器圧力 (II)	2PI-452	11~ 17.5MPa		2020.10.6 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器圧力 (III)	2PI-453	11~ 17.5MPa		2020.10.6 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器圧力 (IV)	2PI-454	11~ 17.5MPa		2020.10.6 ※1	

※1：次回定期事業者検査まで

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：04

検査年月日：令和3年1月21,22日

検査項目	検査用計器	管理番号 (製造番号)	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
負荷検査 (その1)	加圧器水位 (I)	2LI-451	0~100%	[Redacted]	2020.11.21 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器水位 (II)	2LI-452	0~100%		2020.11.21 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器水位 (III)	2LI-453	0~100%		2020.11.21 ※1	
負荷検査 (その1)	加圧器水位 (IV)	2LI-454	0~100%		2020.10.7 ※1	
負荷検査 (その1)	A・B・C蒸 気発生器熱 出力瞬時値 (1分値) 合計	U1209	0~ 3,000MWt		2020.12.19 ※1	
負荷検査 (その1)	蒸気発生器 熱出力1時 間平均値	U1209H2	0~ 3,000MWt		2020.12.19 ※1	
負荷検査 (その1)	格納容器じ んあいモニ タ	2R-40	$10^1 \sim 10^7$ cpm		2020.9.17 ※1	[Redacted]
負荷検査 (その1)	格納容器ガ スモニタ	2R-41	$10^1 \sim 10^7$ cpm		2020.9.17 ※1	
負荷検査 (その1)	発電機電力	— (タービン 発電機盤)	0~ 1,200MW	2020.9.28 ※1		

※1：次回定期事業者検査まで

原子炉本体

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

5 原子炉容器に係る次の事項

(1) 原子炉容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに監視試験片の種類、初装荷個数及び取付箇所

(1/3)

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	—	原子炉容器 (注1)	
容 量 (注2) (注3)	m <sup>3</sup>	たて置円筒上下半球鏡容器 — (注4)	
最 高 使 用 圧 力	MPa	17.16 (注3) 18.5 (注3)	
最 高 使 用 温 度	℃	343 (注3) 360 (注3)	
主 要 寸 法	胴 内 径	mm	上 部 : 3,961 (注5) 下 部 : 3,999 (注5)
	胴 板 厚 さ	mm	上 部 : ■ (注5) 下 部 : ■ (202 (注5))
	鏡 板 内 半 径	mm	上 部 : 1,920 (注5) 下 部 : 2,037.5 (注5)
	鏡 板 厚 さ	mm	上 部 : ■ (160 (注5)) 下 部 : ■ (131 (注5))
	内 張 り 厚 さ	mm	5.5 (注5)
	高 さ	mm	12,366 (注5)
	入 口 管 台 内 径	mm	709.5 (注5)
	入 口 管 台 厚 さ	mm	■ (76.25 (注5))
	入口管台セーフエンド内径	mm	698.25 (注5)
	入口管台セーフエンド厚さ	mm	■ (81.875 (注5))
出 口 管 台 内 径	mm	747.6 (注5)	
出 口 管 台 厚 さ	mm	■ (82.2 (注5))	
出口管台セーフエンド内径	mm	736.35 (注5)	
出口管台セーフエンド厚さ	mm	■ (87.825 (注5))	
空 気 抜 管 台 外 径	mm	34.0 (注5)	
空 気 抜 管 台 厚 さ	mm	■ (6.4 (注5))	
スタッドボルト呼び径(本数)	mm	152.4 (注5) (58本)	
			(注6) (82.2 (注5))
			変更なし
			■ 一部 (注6) (87.825 (注5))
			変更なし

(2/3)

		変 更 前	変 更 後
原子炉容器本体	上 部 部 材	た	SFVQ1A
		胴	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		トランジションリング	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		胴	SQV2A相当 (ASME SA533 Gr.B Class1)
		鏡 板	SQV2A相当 (ASME SA533 Gr.B Class1)
		フランジ	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		管 台	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		管 台	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		フエント	SUSF316相当 (ASME SA182 Gr.F316)
		フエント	SUSF316相当 (ASME SA182 Gr.F316)
		管 台	GNCRF690C
		ボルト、ナット	SNB24-3
		張 り 材	ステンレス鋼 (溶接クラッド)
		個 数	1
		系 (ライオン)	原子炉容器 1次冷却材循環ライン
		設 置 床	原子炉格納容器 EL.4.88m
		溢水防護上の区画番号	-
溢水防護上の配慮が必要な高さ	-		
(注2) 取付箇所		変更なし	

		変 更 前	変 更 後
監視	種 類	—	
試験	初 装 荷 個 数	—	変更なし
片	取 付 箇 所	炉心周囲	

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用。

(注2) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備に使用する場合の記載事項。

(注3) 重大事故等時における使用時の値。

(注4) 流路として使用するため容量は設定しない。

(注5) 公称値

(注6) 出口管台厚さの設計確認値、及び出口管台セーフエンド厚さの設計確認値の範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す1か所（全周×165mm）の範囲である。

[修理の方法]

原子炉容器のうち、出口管台の600系ニッケル基合金が1次冷却材と接する内面側全周の出口管台と出口管台セーフエンドの溶接部、出口管台内張り材及び出口管台セーフエンドの一部について、開先加工し、応力腐食割れ対策材料として多くの使用実績のある690系ニッケル基合金で溶接補修する。

なお、開先加工に欠陥が認められる場合には欠陥部を除去し、欠陥除去部<sup>(注)</sup>を690系ニッケル基合金で溶接補修する。

(注) 欠陥部の溶接補修に当たっては、欠陥位置を記録し、その記録に基づいて処置する。なお、欠陥部の溶接補修範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す出口管台及び出口管台セーフエンドの範囲とする。

検査年月日  
2021年 / 月 / 日

負荷検査記録 (1/2)

項目	原 子 炉				冷 却 材 温 度								冷 却 材 流 量											
	出力領域中性子束				高温側				低温側				平均			Aループ			Bループ			Cループ		
	出力領域	出力領域	出力領域	出力領域	Aループ冷却材高温側温度	Bループ冷却材高温側温度	Cループ冷却材高温側温度	Aループ冷却材低温側温度	Bループ冷却材低温側温度	Cループ冷却材低温側温度	Aループ TAVG	Bループ TAVG	Cループ TAVG	Aループ1次冷却材流量	A(Ⅰ)ループ1次冷却材流量	A(Ⅱ)ループ1次冷却材流量	A(Ⅳ)ループ1次冷却材流量	Bループ1次冷却材流量	B(Ⅰ)ループ1次冷却材流量	B(Ⅱ)ループ1次冷却材流量	B(Ⅳ)ループ1次冷却材流量			
時刻	N41	N42	N43	N44	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計		
単位	%	%	%	%	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	%	%	%	%	%	%	%	%	%		
計器種類	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計		
計器位置	炉外核計装盤	炉外核計装盤	炉外核計装盤	炉外核計装盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤		
計器番号	2NI-41A	2NI-42A	2NI-43A	2NI-44A	2TI-410	2TI-420	2TI-430	2TI-415	2TI-425	2TI-435	2TI-412D	2TI-422D	2TI-432D	2FI-413	2FI-414	2FI-415	2FI-422	2FI-423	2FI-424	2FI-425				
制限値	<103	<103	<103	<103										>90	>90	>90	>90	>90	>90	>90	>90	>90		
目標値	<100	<100	<100	<100										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
7:00	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
7:30	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
8:00	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
8:30	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
9:00	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
9:30	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
10:00	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
10:30	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
11:00	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		
平均	99.6	99.6	99.2	99.2										100	100	100	100	100	100	100	100	100		



負荷検査記録 (2/2)

項目	1 次 冷 却 設 備										放射線監視設備				発電機		
	冷 却 材 流 量				加 圧 器				蒸 気 発 生 器		プ ロ セ ス モ ニ タ		MW	指示計			
	Cループ1次冷却材流量 (I)	Cループ1次冷却材流量 (II)	Cループ1次冷却材流量 (III)	Cループ1次冷却材流量 (IV)	加圧器圧力 (I)	加圧器圧力 (II)	加圧器圧力 (III)	加圧器圧力 (IV)	加圧器水位 (I)	加圧器水位 (II)	加圧器水位 (III)	加圧器水位 (IV)				瞬間熱出力 (A・B・C)	1時間平均熱出力
指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	指示計	
測定時刻	2FI-432	2FI-433	2FI-434	2FI-435	2PI-451	2PI-452	2PI-453	2PI-454	2LI-451	2LI-452	2LI-453	2LI-454	U1209	U1209H2	2R-40	2R-41	—
単位	%	%	%	%	MPa	MPa	MPa	MPa	%	%	%	%	MWt	MWt	cpm	cpm	MW
計器種類	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	原子炉盤	放射線計装盤	放射線計装盤	—
計器位置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計器番号	2FI-432	2FI-433	2FI-434	2FI-435	2PI-451	2PI-452	2PI-453	2PI-454	2LI-451	2LI-452	2LI-453	2LI-454	U1209	U1209H2	2R-40	2R-41	—
制限値	>90	>90	>90	>90	<15.93 >15.07	<15.93 >15.07	<15.93 >15.07	<15.93 >15.07	<70 >17	<70 >17	<70 >17	<70 >17	<2.660 (※1)	<2.658	<9.3×10 <sup>2</sup>	<3.7×10 <sup>3</sup>	<990
目標値	—	—	—	—	15.41	15.41	15.41	15.41	21~54	21~54	21~54	21~54	—	2.655	—	—	—
7:00	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.650	2.654	2.1×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	955
7:30	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.659	—	2.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
8:00	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.658	2.654	2.1×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
8:30	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.658	—	2.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
9:00	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.648	2.654	2.1×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	955
9:30	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.655	—	2.2×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
10:00	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.653	2.654	2.1×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	955
10:30	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.663	—	2.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
11:00	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.652	2.654	2.0×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	960
平均	100	100	100	100	15.41	15.41	15.41	15.40	49	49	49	49	2.655	2.654	2.1×10 <sup>2</sup>	1.2×10 <sup>3</sup>	958

(※1) ゆらぎに伴い発生する瞬時値の逸脱は除く。  
(※2) 正時のみ測定、記録する。

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003198号99

成績書管理番号：01

令和3年1月

原子力規制委員会

## 使用前検査成績書

成績書管理番号：01

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年5月11日  
至 令和3年1月21日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第 225 号 (令和 2 年 3 月 19 日) 原発本第 185 号 (令和 2 年 10 月 1 日) 原発本第 223 号 (令和 2 年 10 月 28 日)
--------------------	---

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 5月11日	良	雑賀 康正 吉村 直樹	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日： 令和 2 年 5 月 11 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・－	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・－	
届出 工事計画の認可番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・－	

九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機  
使用前検査記録  
品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 2 年 5 月 11 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	結果	備考
法令、規格、工事計画、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	(良)・—	

## 検査結果

判定基準	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、認可した工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	継続
総合所見	本検査は、原子炉容器出口管台溶接部計画保全工事に係る検査であり、品質管理の方法等に関する事項に従い行われていることを確認した。なお、下記 3, 4, 5 については次回以降の検査において継続的に確認する。
品質管理の方法等に関する所見	<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <p>工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び供給者との間の責任及び権限が明確にされていることを確認した。</p> <p>また、工事及び検査が「調達仕様書」や「設計業務計画書」で定められた責任と権限に基づき実施されるとともに、体制の構築、情報伝達等が工事計画に従って行われていることを確認した。</p> <p>2 保安活動の計画</p> <p>工事及び検査に係る要求事項や組織体制等が「設計業務計画書」等で明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを「適合性確認検査整理表」、「適合性確認検</p>

	<p>査計画表」等により確認した。</p> <p>また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認についても規程類によって定めていることを確認した。</p>
	<p>3 保安活動の実施</p> <p>供給者（調達物品や役務を含む。）の管理について「調達仕様書」等により実施していることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の実施について、継続して確認する。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <p>調達物品や役務、原子炉施設が要求事項に適合していることを実証するためのプロセスが明確にされており、計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価することが定められていることを確認した。</p> <p>また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の評価について、継続して確認する。</p>
	<p>5 保安活動の改善</p> <p>予防処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が規程類によって定められていることを確認した。</p> <p>引き続き実施される保安活動の改善について、継続して確認する。</p>
<p>備考</p>	



九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機  
使用前検査記録  
品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 2 年 5 月 11 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

使用前検査において確認した関連文書一覧表

関連文書の名称等	備考
<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質マニュアル（基準）</li> <li>・設計・調達管理基準</li> <li>・調達管理要領</li> <li>・設計管理要領</li> <li>・教育訓練基準</li> <li>・受注者品質保証監査要領</li> <li>・発電用原子炉主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）</li> <li>・川内原子力発電所設計・調達管理基準</li> <li>・川内原子力発電所調達管理要領</li> <li>・川内原子力発電所設計管理要領</li> <li>・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領</li> <li>・川内原子力発電所保守基準</li> <li>・川内原子力発電所作業管理要領</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査基準</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査要員管理要領</li> <li>・川内原子力発電所適合性確認実施要領</li> <li>・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領</li> <li>・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準</li> <li>・川内原子力発電所教育訓練基準</li> <li>・川内原子力発電所保守課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所技術課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所ボイラー・タービン及び電気主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>2 保安活動の計画</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質マニュアル（基準）</li> <li>・設計・調達管理基準</li> <li>・設計管理要領</li> </ul>	

- ・受注者品質保証監査要領
- ・調達管理要領

- ・保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・保安活動に関する法令・規制要求事項等の管理要領
- ・使用前検査業務要領
- ・不適合管理基準
- ・評価改善活動管理基準

#### 発電所

- ・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・川内原子力発電所保安活動に関する法令・規制要求事項等の管理要領
- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所保修基準
- ・川内原子力発電所作業管理要領
- ・川内原子力発電所運転基準
- ・川内原子力発電所放射線管理基準
- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・川内原子力発電所評価改善活動管理基準

### 3 保安活動の実施

#### 本店

- ・品質マニュアル（基準）
- ・設計・調達管理基準
- ・調達管理要領
- ・設計管理要領
- ・保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・保安活動に関する文書及び記録の管理要領

#### 発電所

- ・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）
- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所工場及び現地試験・検査立会管理要領
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所識別管理要領
- ・川内原子力発電所保修基準
- ・川内原子力発電所作業管理要領
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準

- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理要領

#### 4 保安活動の評価

##### 本店

- ・設計・調達管理基準
- ・調達管理要領
- ・設計管理要領
- ・受注者品質保証監査要領
- ・不適合管理基準
- ・予防処置基準

##### 発電所

- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・川内原子力発電所予防処置基準

#### 5 保安活動の改善

##### 本店

- ・不適合管理基準
- ・予防処置基準
- ・評価改善活動管理基準

##### 発電所

- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所予防処置基準
- ・川内原子力発電所評価改善活動管理基準

検査結果一覧表

成績書管理番号：01

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和3年 1月21日	良	吉村直樹 大江勇人	発電用原子炉主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 3 年 1 月 21 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機  
使用前検査記録  
品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和 3 年 1 月 21 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	結果	備考
法令、規格、工事計画、申請者の規程類、申請者の品質記録及びエビデンスが準備されていること。	(良)・—	

## 検査結果

判定基準	検査結果
工事及び検査に係る保安活動が、認可した工事計画に定められた品質管理の方法等に関する事項に従って行われていること。	良
総合所見 本検査は、原子炉容器出口管台溶接部計画保全工事に係る検査であり、品質管理の方法等に関する事項に従って行われていることを確認した。	
品質管理の方法等に関する所見 1 品質保証の実施に係る組織 工事及び検査に係る必要な人的資源、インフラストラクチャー及び作業環境が確保され、申請者部門間及び供給者との間の責任及び権限が明確にされていることを確認した。 また、工事及び検査が「調達仕様書」や「設計業務計画書」で定められた責任と権限に基づき実施されるとともに、体制の構築、情報伝達等が工事計画に従って行われていることを確認した。	
2 保安活動の計画 工事及び検査に係る要求事項や組織体制等が「設計業務計画書」等で明確にされ、対象設備について全体工程や各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認、試験及び検査が漏れなく実施されるよう計画（手順や合否判定基準を含む。）が定められていることを「適合性確認検査整理表」、「適合性確認検査計画表」等により確認した。	

	<p>また、調達物品や役務に係る各工程段階における監視、測定、検証、妥当性確認についても規程類によって定めていることを確認した。</p>
	<p>3 保安活動の実施</p> <p>供給者（調達物品や役務を含む。）の管理について「調達仕様書」等により実施していることを確認した。</p>
	<p>4 保安活動の評価</p> <p>調達物品や役務、原子炉施設が要求事項に適合していることを実証するためのプロセスが明確にされており、計画に従って漏れなく監視、測定、試験及び検査が行われていることを評価することが定められていることを確認した。</p> <p>また、不適合が発生した場合の処置、供給者から申請者への報告についても定められていることを確認した。</p> <p>なお、工事及び検査において使用前検査に影響のある、不適合が発生していないことを確認した。</p>
	<p>5 保安活動の改善</p> <p>未然防止処置又は不適合に対する是正処置を通じて、品質管理の方法等の継続的改善が規程類によって定められていることを確認した。</p> <p>なお、工事及び検査において使用前検査に影響のある、不適合が発生していないことを確認した。</p>
<p>備 考</p>	

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機  
使用前検査記録  
品質管理の方法等に関する検査

成績書管理番号：01

検査年月日：令和3年 / 月 21 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

使用前検査において確認した関連文書一覧表

関連文書の名称等	備考
<p>1 品質保証の実施に係る組織</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質マニュアル（基準）</li> <li>・設計・調達管理基準</li> <li>・調達管理要領</li> <li>・設計管理要領</li> <li>・教育訓練基準</li> <li>・受注者品質保証監査要領</li> <li>・発電用原子炉主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>発電所</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）</li> <li>・川内原子力発電所設計・調達管理基準</li> <li>・川内原子力発電所調達管理要領</li> <li>・川内原子力発電所設計管理要領</li> <li>・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領</li> <li>・川内原子力発電所保修基準</li> <li>・川内原子力発電所作業管理要領</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査基準</li> <li>・川内原子力発電所試験・検査要員管理要領</li> <li>・川内原子力発電所適合性確認実施要領</li> <li>・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領</li> <li>・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準</li> <li>・川内原子力発電所教育訓練基準</li> <li>・川内原子力発電所保修課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所技術課教育訓練要領</li> <li>・川内原子力発電所ボイラー・タービン及び電気主任技術者の保安監督に関する基準</li> </ul> <p>2 保安活動の計画</p> <p>本店</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品質マニュアル（基準）</li> <li>・設計・調達管理基準</li> <li>・設計管理要領</li> </ul>	



- ・受注者品質保証監査要領
- ・調達管理要領
- ・保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・保安活動に関する法令・規制要求事項等の管理要領
- ・使用前検査業務要領
- ・不適合管理基準
- ・評価改善活動管理基準

#### 発電所

- ・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・川内原子力発電所保安活動に関する法令・規制要求事項等の管理要領
- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所受注者品質保証監査要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所保修基準
- ・川内原子力発電所作業管理要領
- ・川内原子力発電所運転基準
- ・川内原子力発電所放射線管理基準
- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所不適合管理基準
- ・川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・川内原子力発電所評価改善活動管理基準

### 3 保安活動の実施

#### 本店

- ・品質マニュアル（基準）
- ・設計・調達管理基準
- ・調達管理要領
- ・設計管理要領
- ・保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・保安活動に関する文書及び記録の管理要領

#### 発電所

- ・川内原子力発電所品質マニュアル（基準）
- ・川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・川内原子力発電所調達管理要領
- ・川内原子力発電所設計管理要領
- ・川内原子力発電所試験・検査基準
- ・川内原子力発電所工場及び現地試験・検査立会管理要領
- ・川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・川内原子力発電所監視機器、測定機器及び計測器管理要領
- ・川内原子力発電所識別管理要領
- ・川内原子力発電所保修基準
- ・川内原子力発電所作業管理要領
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理基準
- ・川内原子力発電所保安活動に関する文書及び記録の管理要

領

#### 4 保安活動の評価

本店

- ・ 設計・調達管理基準
- ・ 調達管理要領
- ・ 設計管理要領
- ・ 受注者品質保証監査要領
- ・ 不適合管理基準
- ・ 未然防止処置基準

発電所

- ・ 川内原子力発電所設計・調達管理基準
- ・ 川内原子力発電所調達管理要領
- ・ 川内原子力発電所設計管理要領
- ・ 川内原子力発電所受注者品質保証監査要領
- ・ 川内原子力発電所試験・検査基準
- ・ 川内原子力発電所適合性確認実施要領
- ・ 川内原子力発電所不適合管理基準
- ・ 川内原子力発電所不適合管理運用ガイドライン
- ・ 川内原子力発電所未然防止処置基準

#### 5 保安活動の改善

本店

- ・ 不適合管理基準
- ・ 未然防止処置基準
- ・ 評価改善活動管理基準

発電所

- ・ 川内原子力発電所不適合管理基準
- ・ 川内原子力発電所未然防止処置基準
- ・ 川内原子力発電所評価改善活動管理基準

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003198号99

成績書管理番号：02

令和2年7月

原子力規制委員会

## 使用前検査成績書

成績書管理番号：02

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和2年7月2日  
至 令和2年7月14日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録




## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第 225 号 (令和 2 年 3 月 1 9 日)
--------------------	-------------------------------

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

# 検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月2日	良	 足立 恭二 水戸 尚哉	発電用原子炉 主任技術者  ボイラー・タービン主任技術者 	なし

検査結果一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日	検査結果	原子力検査官 印	検査立会責任者 印	特記事項
令和2年 7月14日	良	大江 勇人	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

## 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録 共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月2日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の <sup>届出</sup> 番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	



九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月14日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月2日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月14日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	立会/ 記録確認	良・⊖	

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月2日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器 (別添1参照)			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
寸法検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録(※)による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-01-05-a ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照			

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(一号検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月14日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器（別添1参照）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
外観検査 組立て及び据付け状態を確認する検査 耐圧検査 漏えい検査	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	良	目視 記録確認 ※1
備考 ・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。 ※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-1-01-05-a ・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照 ※1：目視で確認した範囲を除く範囲。			

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
(一号検査)  
(立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月2日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添1参照	寸法検査	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第 2 号機 使用前検査記録  
 (一号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：02

検査年月日：令和 2 年 7 月 14 日

検査場所：川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添 3 参照	外観検査	—	良	目視
別添 3 参照	組立て及び 据付け状態 を確認する 検査	—	良	目視
別添 3 参照	耐圧検査	—	良	目視
別添 3 参照	漏えい検査	—	良	目視
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月2日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
寸法検査	レーザ 計測器	119213	(深さ) 0~55mm	±0.2mm	2020.06.16 2021.01.31	
寸法検査	レーザ 計測器	119213	(位置) 0~200mm	±0.5mm	2020.06.16 2021.06.15	
寸法検査	レーザ 計測器	119210	(深さ) 0~55mm	±0.2mm	2020.06.16 2021.01.31	
寸法検査	レーザ 計測器	119210	(位置) 0~200mm	±0.5mm	2020.06.16 2021.06.15	
寸法検査	レーザ 計測器	119212	(深さ) 0~55mm	±0.2mm	2020.06.16 2021.01.31	
寸法検査	レーザ 計測器	119212	(位置) 0~200mm	±0.5mm	2020.06.16 2021.06.15	



九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：02

検査年月日：令和2年7月14日

検査項目	検査用計器	管理番号	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
耐圧検査 漏えい検査	透過写真観察器	XS-677	(輝度) 30000 cd/m <sup>2</sup> 以上	30000 cd/m <sup>2</sup> 以上	2020.2.4 2021.2.28	
耐圧検査 漏えい検査	濃度計	XD-502	(濃度範囲) 0.00~4.00	±0.05	2020.1.7 2021.1.31	
耐圧検査 漏えい検査	放射線透過 写真等級分 類ゲージ	134145	-	(管理値) ±0.15mm	2020.1.7 2021.1.31	

原子炉本体

加圧水型発電用原子炉施設に係るものについては、次の事項

5 原子炉容器に係る次の事項

(1) 原子炉容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに監視試験片の種類、初装荷個数及び取付箇所

(1/3)

名 称		変 更 前	変 更 後
種 類	原子炉容器 (注1)	たて置円筒上下半球鏡容器	
容 量	量 (注2) (注3)	— (注4)	
最 高 使 用 圧 力	力	17.16 18.5 (注3)	
最 高 使 用 温 度	度	343 360 (注3)	
主 要 寸 法	胴 内 径	上 部：3,961 (注5) 下 部：3,999 (注5)	
	胴 板 厚 さ	上 部：250 (255 (注5)) 下 部：197 (202 (注5))	
	鏡 板 内 半 径	上 部：1,920 (注5) 下 部：2,037.5 (注5)	
	鏡 板 厚 さ	上 部：155 (160 (注5)) 下 部：126 (131 (注5))	変更なし
	内 張 り 厚 さ	5.5 (注5)	
	高 さ	12,366 (注5)	
入 口 管 台 内 径	709.5 (注5)		
入 口 管 台 厚 さ	76.25 (76.25 (注5))		
入 口 管 台 セ ー フ エ ン ド 内 径	698.25 (注5)		
入 口 管 台 セ ー フ エ ン ド 厚 さ	78 (81.875 (注5))		
出 口 管 台 内 径	747.6 (注5)		
出 口 管 台 厚 さ	82.2 (82.2 (注5))	75.16 (注6) (82.2 (注5))	
出 口 管 台 セ ー フ エ ン ド 内 径	736.35 (注5)	変更なし	
出 口 管 台 セ ー フ エ ン ド 厚 さ	70 (87.825 (注5))	70, 一部 60 (注6) (87.825 (注5))	
空 気 抜 管 台 外 径	34.0 (注5)		
空 気 抜 管 台 厚 さ	5.7 (6.4 (注5))	変更なし	
ス タ ッ プ ボ ル ト 呼 び 径 (本 数)	152.4 (注5) (58本)		

別添1

令和2年7月2日実施分  
令和2年7月14日実施分

令和2年7月2日実施分  
令和2年7月14日実施分

(2/3)

		変更前	変更後	
原子炉容器本体	上部	た	—	
	上部	胴	—	
	トランジションリング		—	
	下部	胴	—	
	下部	鏡板	—	
	上部	胴	—	
	入口	管台	—	
	出口	管台	—	
	入口	管台セーフエンド	—	
	出口	管台セーフエンド	—	
	空気	抜管台	—	
	スタッド	ボルト、ナット	—	
	内張り	材	—	
	個	数	1	
	(E2) 取付箇所	系統	原子炉容器	
		(ライン名)	1次冷却材循環ライン	
		設置床	原子炉格納容器 E.L.4.88m	
		溢水防護上の区画番号	—	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—		

変更なし

(3/3)

監視試験片		変更前		変更後	
種	類	個	数	個	数
初	カプセル型	-	6	-	変更なし
取	炉心周囲	-		-	

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほぼ酸注入機能を有する設備と兼用。

(注2) 計測制御系統施設のうちほぼ酸注入機能を有する設備に使用する場合の記載事項。

(注3) 重大事故等時における使用時の値。

(注4) 管路として使用するため容量は設定しない。

(注5) 公称値

(注6) 出口管台厚さの設計確認値75.16mm、及び出口管台セーフエンド厚さの設計確認値60mmの範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す1か所（全周×165mm）の範囲である。

[修理の方法]

原子炉容器のうち、出口管台の600系ニッケル基合金が1次冷却材と接する内面側全周の出口管台と出口管台セーフエンドの溶接部、出口管台内張り材及びび出口管台セーフエンドの一部について、開先加工し、応力腐食割れ対策材料として多くの使用実績のある690系ニッケル基合金で溶接補修する。

なお、開先加工に欠陥が認められる場合には欠陥部を除去し、欠陥除去部<sup>(注)</sup>を690系ニッケル基合金で溶接補修する。

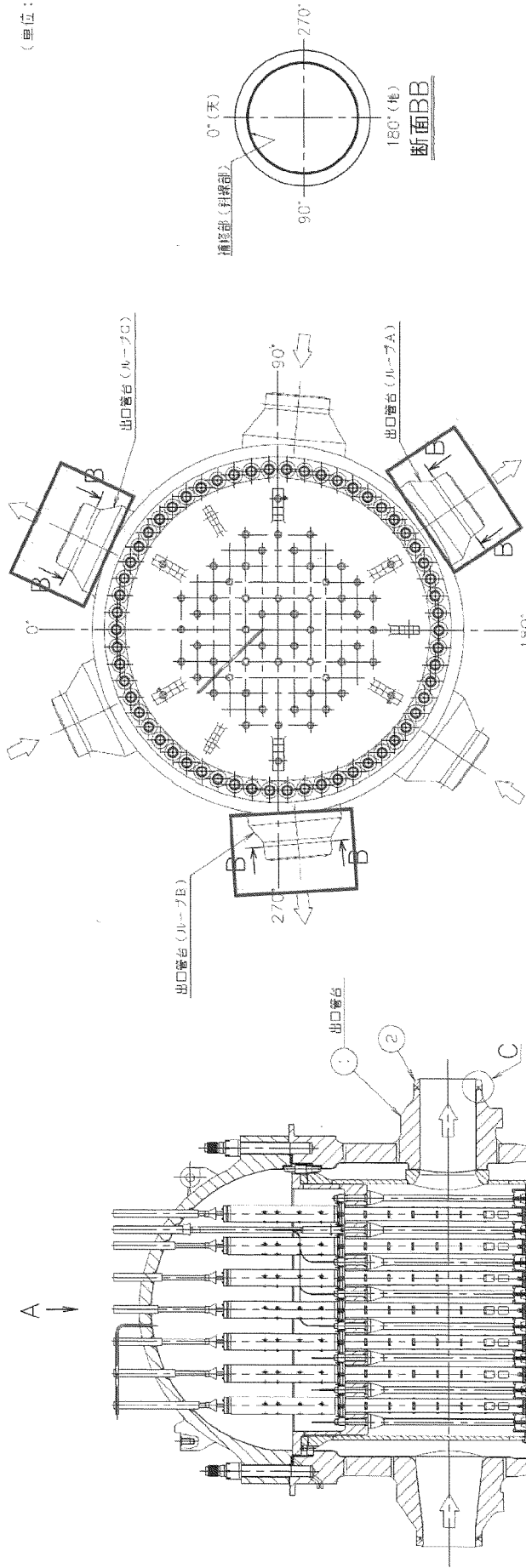
(注) 欠陥部の溶接補修に当たっては、欠陥位置を記録し、その記録に基づいて処置する。なお、欠陥部の溶接補修範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す出口管台及びび出口管台セーフエンドの範囲とする。

令和2年7月20日実施分  
令和2年7月14日実施分

川内原子力発電所第2号機							
寸法検査記録							
検査場所：川内原子力発電所							
検査範囲：原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器 一式							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象	厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法	
	主要寸法	許容値 <sup>※3</sup>	測定値 <sup>※4</sup>				
出口管台厚さ	ループA	75.16 <sup>※1</sup> (82.2) <sup>※2</sup>	75.16 以上	82.84	令和2年 7月2日	良	目視
	ループB	75.16 <sup>※1</sup> (82.2) <sup>※2</sup>	75.16 以上	82.61	令和2年 7月2日	良	
	ループC	75.16 <sup>※1</sup> (82.2) <sup>※2</sup>	75.16 以上	82.23	令和2年 7月2日	良	
備考							
※1：出口管台厚さの設計確認値 75.16mm の範囲は、工事計画資料 5-3「耐震計算結果」の第 3-1 図に示す 1 か所（全周×165mm）の範囲である。 ※2：公称値 ※3：許容値は工事計画による。 ※4：最小値							

川内原子力発電所第2号機							
寸法検査記録							
検査場所：川内原子力発電所							
検査範囲：原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器 一式							
判定基準：各部の主要寸法の測定値が許容寸法を満足すること。							
検査対象	厚さ (mm)			検査年月日	検査結果	検査方法	
	主要寸法	許容値 <sup>※3</sup>	測定値 <sup>※4</sup>				
出口管台 セーフエンド 厚さ	ループA	70, 一部 60 <sup>※1</sup> (87.825) <sup>※2</sup>	60 以上	67.62	令和2年 7月2日	良	目視
	ループB	70, 一部 60 <sup>※1</sup> (87.825) <sup>※2</sup>	60 以上	67.63	令和2年 7月2日	良	
	ループC	70, 一部 60 <sup>※1</sup> (87.825) <sup>※2</sup>	60 以上	66.62	令和2年 7月2日	良	
備考							
※1：出口管台セーフエンド厚さの設計確認値 60mm の範囲は、工事計画資料 5-3 「耐震計算結果」 の第 3-1 図に示す 1 か所（全周×165mm）の範囲である。							
※2：公称値							
※3：許容値は工事計画による。							
※4：最小値							

(単位: mm)



主要目表

名称	原子炉容器
種類	たて置円筒上下半球殻容器
最高使用圧力	MPa 17.16, 18.5 <sup>(注1)</sup>
最高使用温度	°C 343, 360 <sup>(注1)</sup>
個数	1

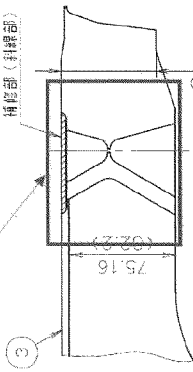
(注1) 重大事故等時における使用時の値。  
(注2) ( )は公称値を示す。

番号	名称	材料	個数
1	出口管台	SFW3 相当 ASME SA508 Class3	3
2	出口管台セーフエンド	SUSF316 相当 ASME SA182 Gr. F316	3
3	内張り材	ステンレス鋼 (溶接クラッド)	—

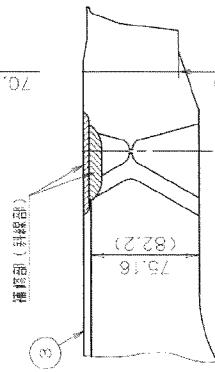
※原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用。

工事計画図出	第1図
川内原子力発電所第2号機	原子炉本体の構造図 (原子炉容器本体)
九州電力株式会社	

A 視  
検査対象範囲



C 部詳細



C 部詳細「欠陥が認められる場合」

九州電力株式会社  
川内原子力発電所第2号機  
使用前検査成績書

要領書番号：原規規収第2003198号99

成績書管理番号：03

令和2年12月

原子力規制委員会



使用前検査成績書

成績書管理番号：03

- 1 発電所名 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機
- 2 検査申請 検査申請一覧表のとおり
- 3 検査期日 自 令和 2 年 / 2 月 7 日  
至 令和 2 年 / 2 月 8 日
- 4 検査場所 使用前検査記録のとおり
- 5 検査実施者 検査結果一覧表のとおり
- 6 検査結果 検査結果一覧表のとおり
- 7 添付資料 使用前検査記録

## 検査申請一覧表

検査申請書番号 (申請年月日)	原発本第225号(令和2年 3月19日) 原発本第185号(令和2年10月 1日) 原発本第223号(令和2年10月28日)
--------------------	--

上記以降の変更を検査申請書の変更申請により確認し表中に追記する。

検査結果一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日	検査結果	原子力検査官	検査立会責任者	特記事項
令和2年 /2月7.8日	良	北村 博史 大江 勇人	発電用原子炉 主任技術者 [Redacted] ボイラー・タービン主任技術者 [Redacted]	なし

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
共通事項

成績書管理番号：03

検査年月日：令和 2 年 12 月 7、8 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

## 使用前検査申請書の確認

確認事項	確認方法	確認結果	備考
本検査に係る使用前検査申請書（変更申請を含む。）が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
検査をする工事の工程、期日及び場所が申請書どおりであること。	記録確認	◎良・—	
工事計画の届出番号の記載が適切であること。	記録確認	◎良・—	

## 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録 (四号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和 2 年 / 12 月 7、8 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査前確認事項

確認事項	確認方法	結果	備考
申請者の品質記録が準備されていること。	記録確認	◎良・—	
必要な図面等が準備されていること。	図面等確認	◎良・—	
検査用計器が校正されており有効期限内であること及び必要な測定範囲、測定精度を有していること。	記録確認	◎良・—	
系統構成が完了していること。	◎立会 記録確認	◎良・—	

# 九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録 (四号検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和 2 年 12 月 7、8 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象			
原子炉本体 原子炉容器 原子炉容器本体 原子炉冷却系統施設 一次冷却材の循環設備 計測制御系統施設 ほう酸注入機能を有する設備 容器（別添1参照）			
検査項目	判定基準	検査結果	検査方法
系統機能検査 (バウンダリ構成確認検査)	設備及び機器が工事計画に従い製作され、据付けされ、所定の性能を有しており、技術基準に適合するものであること。	<span style="font-size: 2em;">良</span>	<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-bottom: 10px;">目視</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">記録確認</div> </div>
<b>備考</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・記録確認は、工事計画に基づき申請者が行った試験・検査の品質記録（※）による。</li> <li>※ 適合性確認検査成績書の識別番号：QSN2-4-01-05-a</li> <li>・目視で確認した範囲：添付資料3-3参照</li> </ul>			

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
 (四号検査)  
 (立会検査)

成績書管理番号：03

検査年月日：令和 2 年 12 月 7, 8 日

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

## 検査結果

検査対象設備名	項目	測定値等	検査結果	検査方法
別添1参照	系統機能検査(バウンダリ構成確認検査)	別添2参照	良	目視
以下余白				
備考				

九州電力株式会社川内原子力発電所第2号機 使用前検査記録  
検査用計器一覧表

成績書管理番号：03

検査年月日：令和 2 年 12 月 7、8 日

検査項目	検査用計器	管理番号 (製造番号)	測定範囲	測定精度	校正年月日 有効期限	備考
系統機能検査 (バウンダリ 構成確認検査)	圧力計		0~40MPa		2020年3月4日 2021年3月3日	(正)
系統機能検査 (バウンダリ 構成確認検査)	圧力計		0~40MPa		2020年3月4日 2021年3月3日	(副)
以下余白						



原子炉本体

加圧水型発電用原子炉施設に係るものにあつては、次の事項

5 原子炉容器に係る次の事項

(1) 原子炉容器本体の名称、種類、最高使用圧力、最高使用温度、主要寸法、材料及び個数並びに監視試験片の種類、初装荷個数及び取付箇所

(1/3)

名		変更前		変更後	
種	類	原子炉容器 (注1)			
容	量 (注2) (注3)	たて置円筒上下半球鏡容器			
最	高 使 用 圧 力	17.16			
		18.5 (注3)			
最	高 使 用 温 度	343			
		360 (注3)			
	胴 内 径	上 部 : 3,961 (注5)	下 部 : 3,999 (注5)		
	胴 板 厚 さ	上 部 : (255 (注5))	下 部 : (202 (注5))		
	鏡 板 内 半 径	上 部 : 1,920 (注5)	下 部 : 2,037.5 (注5)		
	鏡 板 厚 さ	上 部 : (160 (注5))	下 部 : (131 (注5))	変更なし	
	内 張 り 厚 さ	5.5 (注5)			
	高 さ	12,366 (注5)			
	入 口 管 台 内 径	709.5 (注5)			
	入 口 管 台 厚 さ	(76.25 (注5))			
	入 口 管 台 セーフエンド内径	698.25 (注5)			
	入 口 管 台 セーフエンド厚さ	(81.875 (注5))			
	出 口 管 台 内 径	747.6 (注5)			
	出 口 管 台 厚 さ	(82.2 (注5))		(注6) (82.2 (注5))	
	出 口 管 台 セーフエンド内径	736.35 (注5)		変更なし	
	出 口 管 台 セーフエンド厚さ	(87.825 (注5))		(注6) (87.825 (注5))	
	空 気 抜 管 台 外 径	34.0 (注5)			
	空 気 抜 管 台 厚 さ	(6.4 (注5))			
	スタッドボルト呼び径 (本数)	152.4 (注5) (58本)		変更なし	

(2/3)

		変更前		変更後	
原子炉容器本体	材	上	た	-	
		上	部	-	SFVQ1A
		ト	ランジションリング	-	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		下	部	-	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		下	部	-	SQV2A相当 (ASME SA533 Gr.B Class1)
		上	部	-	SQV2A相当 (ASME SA533 Gr.B Class1)
		入	口	-	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		出	口	-	SFVV3相当 (ASME SA508 Class3)
		入	口	-	SUSF316相当 (ASME SAI82 Gr.F316)
		出	口	-	SUSF316相当 (ASME SAI82 Gr.F316)
		空	気	-	GNCF690C
		ス	タッド	-	SNB24-3
		内	張	-	ステンレス鋼 (溶接クラッド)
		個	数	-	1
		(注2)	系	-	原子炉容器
		取	統	-	1次冷却材循環ライン
		付	置	-	原子炉格納容器 EL.4.88m
		徳	溢	-	-
		所	水	-	-
			防	-	-
	護	-	-		
	上	-	-		
	の	-	-		
	配	-	-		
	慮	-	-		
	が	-	-		
	必	-	-		
	要	-	-		
	な	-	-		
	高	-	-		
	さ	-	-		

変更なし

		変更前	変更後
監視試験片	種	—	カプセル型
	初装荷個数	—	6
	取付箇所	—	炉心周囲

(注1) 原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用。

(注2) 計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備に使用する場合の記載事項。

(注3) 重大事故等時における使用時の値。

(注4) 流路として使用するため容量は設定しない。

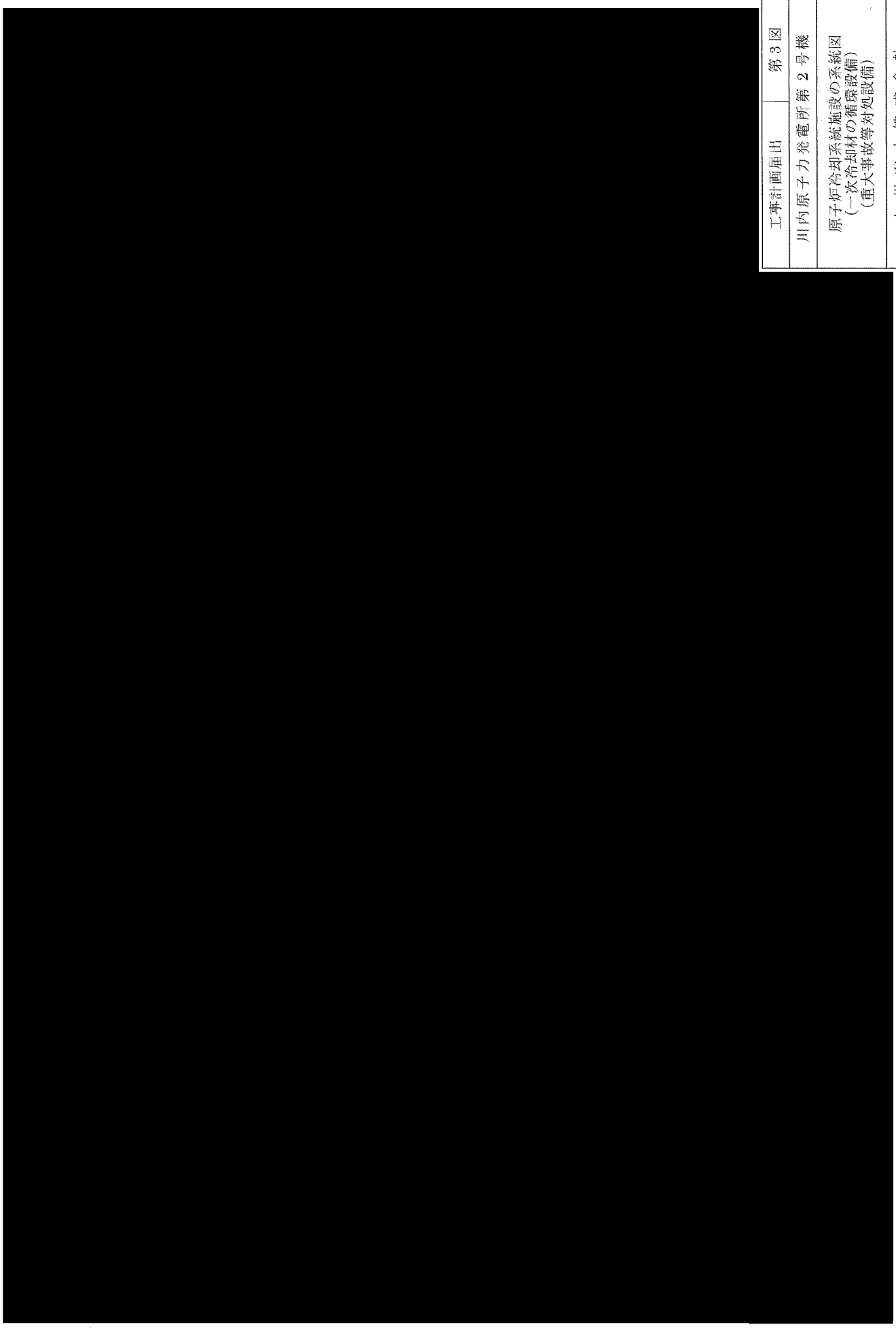
(注5) 公称値

(注6) 出口管台厚さの設計確認値■■■mm、及び出口管台セーフエンド厚さの設計確認値■■■mmの範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す1か所（全周×165mm）の範囲である。

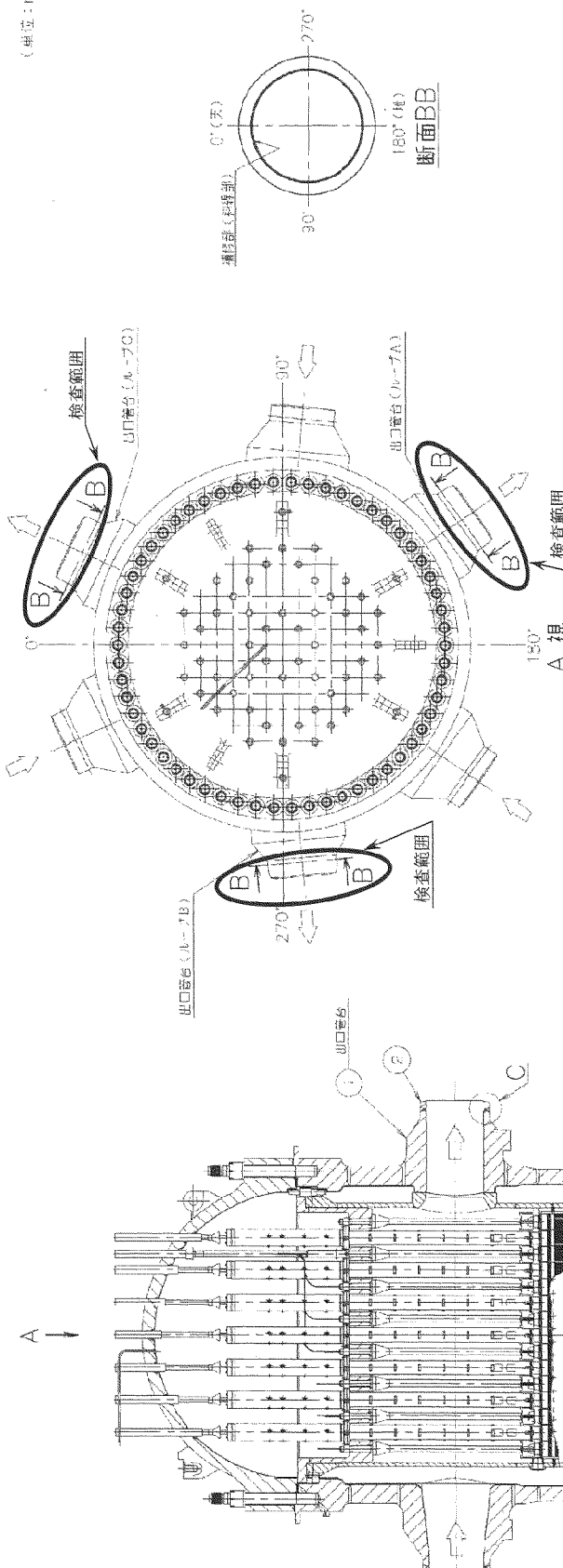
[修理の方法]

原子炉容器のうち、出口管台の600系ニッケル基合金が1次冷却材と接する内面側全周の出口管台と出口管台セーフエンドの溶接部、出口管台内張り材及び出口管台セーフエンドの一部について、開先加工し、応力腐食割れ対策材料として多くの使用実績のある690系ニッケル基合金で溶接補修する。  
 なお、開先加工に欠陥が認められる場合には欠陥部を除去し、欠陥除去部(注)を690系ニッケル基合金で溶接補修する。  
 (注) 欠陥部の溶接補修に当たっては、欠陥位置を記録し、その記録に基づいて処置する。なお、欠陥部の溶接補修範囲は、資料5-3「耐震計算結果」の第3-1図に示す出口管台及び出口管台セーフエンドの範囲とする。

工事計画届出	第3図
川内原子力発電所第2号機	
原子炉冷却系統施設の系統図 (一次冷却材の循環設備) (重大事故等対処設備)	
九州電力株式会社	



(単位: mm)



名称	原子炉容器
種類	たて置円筒上下半球鏡容器
最高使用圧力	MPa 17.16, 18.5(注1)
最高使用温度	°C 343, 360(注1)
個数	1

(注1) 重大事故等時における使用時の値。  
(注2) ( ) は公称値を示す。

番号	名称	材料	個数
1	出口管台	SHV3 相当 (ASME SA508 Class3)	3
2	出口管台セーフエンド	SUSF316 相当 (ASME SA182 Gr.F316)	3
3	内張り材	ステンレス鋼 (溶接クラッド)	—

※原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備と兼用。

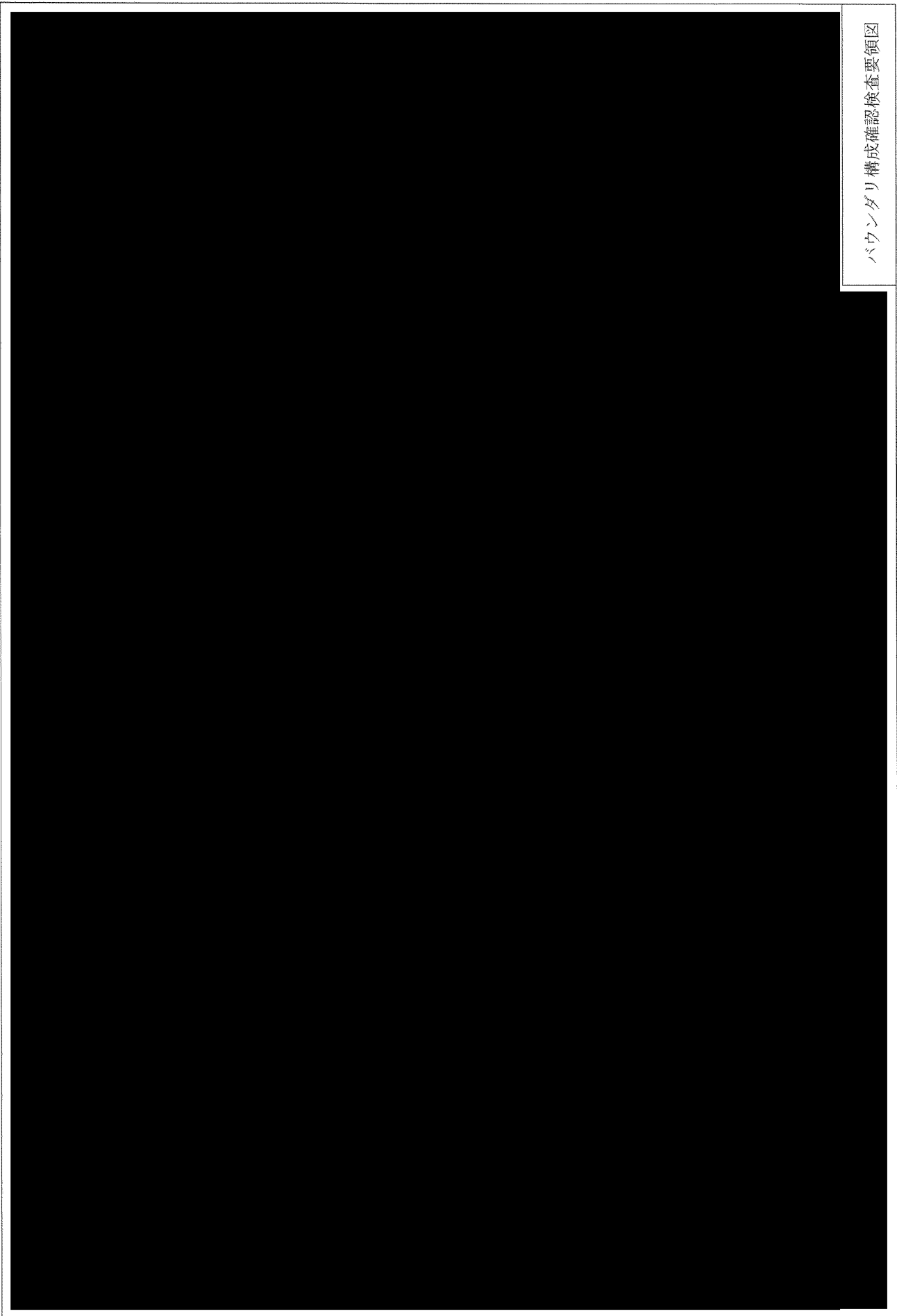
工事計画届出書  
(検査範囲図を追加)

検査範囲

C部詳細「欠陥が認められる場合」

検査範囲図

パウンダリ構成確認検査要領図



川内原子力発電所第2号機

## バウンダリ構成確認検査記録

検査場所：九州電力株式会社川内原子力発電所

検査年月日：令和 2 年 12 月 28 日

検査範囲：原子炉本体

原子炉容器

原子炉容器本体

原子炉冷却系統施設

一次冷却材の循環設備

計測制御系統施設

ほう酸注入機能を有する設備

容器 一式 ※1

判定基準：検査圧力に耐え、かつ、異常のないこと及び著しい漏えいのないこと。

検査対象		最高使用 圧 力 [MPa]	耐圧確認 圧 力 [MPa] ※3	漏えい 確認圧力 [MPa] ※3	保持 時間 [分]	水圧/気圧 区分	検査方法	検査結果
出口管台 及び 出口管台 セーフエン ド	ループ A	17.16 18.5※2	17.30	17.30	12	水圧	目 視	良
	ループ B							
	ループ C							

備 考

※1：原子炉本体のうち原子炉容器、原子炉冷却系統施設のうち一次冷却材の循環設備（技術基準要求設備（要目表として記載要求のない設備））及び計測制御系統施設のうちほう酸注入機能を有する設備の出口管台及び出口管台セーフエンド（別添1参照）

※2：重大事故等時における使用時の値

※3：通常運転圧力×1.1（15.41MPa×1.1=16.96MPa）以上